InterMail Post.Office 3.8.4J 補遺マニュアル

マニュアル・バージョン3.8.4

2003年12月



目次

1. 新しく追加された機能について	1
2. SMTP 認証	2
2.1. SMTP 認証	2
2.2. エンベロープの送信アドレスチェック	2
3. APOP	
4. LDAP サーバ参照 (Advanced 版をご利用の場合)	4
5. SideLine	6
6. Per User Filter	9
【Post.Office Ver 3.8.4 for Windows で Per User Filter をご利用になる皆様へ】	
7. IMAP4 (Advanced 版をご利用の場合)	13
 メーリングリストナンバリング 	14
9. フィルターサーバのサポート機能について	15
10. Post.Office 本体に追加された機能について	16
10.1. LDAP-Server プロセス監視機能	
10.2. 配信先 MTA からエラーが返ってきた場合の SMTP-Deliver の振る舞い	16
10.3. [名前解決のできないドメイン名からのメールを拒否する] に関する仕様変更	16
10.4. リレーを促すアドレスについての対応 (パーセントハック対応)	
10.5. 追加された機能に関する [ログオプション] の設定	
11. Post.Office 3.8.4J の制限事項	20
11.1. WebEdge との連携に LDAP サービスをご利用になる時の制限	20

1. 新しく追加された機能について

InterMail Post.Office 3.8.4Jでは、次の機能が新たに追加されました。本マニュアルでは、これらの機能を順次、簡単に説明します。

- SMTP 認証
 - ・エンベロープの送信アドレスチェック
- APOP
- LDAP サーバ参照 (Advanced 版のみ)
- SideLine
- Per User Filter
- IMAP4 (Advanced 版のみ)
- メーリングリストナンバリング
- フィルターサーバのサポート
- Post.Office 本体に追加された機能について

2. SMTP 認証

<u>2.1. SMTP 認証</u>

SMTP 認証とは、メール送信時にユーザ認証を行う仕組みのことです。メール送信直前に、ユーザ認証を行うことで、送信者が メールサーバのユーザであることが確かめられ、ユーザ以外の第三者に不正利用されるのを防ぐことができます。Post.Office が 対応している SMTP 認証は、LOGIN と PLAIN の 2 種類です。

[システムコンフィグレーション]メニューの[SMTP 認証の設定]を開くと、次のような画面が表示されます。

37+14日 単単句 あ子切 ジャンプロ ブッ	9-140 00490 ALTO 00-17	
Partmeter SMIP Autentic Conference	ē]	
SMTP認証 SMTP認証を有効の 作はいてしいえ 認証されたコキクシ ではい考しいえ 認証されたユーザと 名は、のしいえ 認証されたユーザと	 さする: □ コンに対してリレー制限を行う: □ エンペローブ送信者の確認を行う: □	
486	进信 9世24	
GJ 1993-2002, Op Depraved & Darb Barted by Op	enwave Systems Inc. All Rights Reserved. Sen Technologies Corporation. All Rights Reserved	
99490		-1-12

図 1 [SMTP 認証の設定]画面

[SMTP 認証を有効にする]の項目で、[はい]を選択して[送信]ボタンを押すと、SMTP 認証が有効になります。[いいえ]を選択して[送信]ボタンを押すと、SMTP 認証が無効になります。SMTP 認証では、通常、ローカル配信宛のメールは、認証なしで無条件に受け取り、外部にリレーする場合は、認証している必要があります。

また、[認証されたコネクションに対してリレー制限を行う]の項目で、[はい]を選択すると、[メールリレーの制限]で設定したリレー制限が認証されたコネクションに対して適用されます。

2.2. エンベロープの送信アドレスチェック

SMTP 認証は、ユーザ以外の第三者による不正リレーを防ぎますが、認証後の送信者のチェックは行いません。[認証されたユ ーザとエンベロープ送信者の確認を行う]の項目で[はい]を選択すると認証されたユーザアカウントデータの SMTP アドレスと メールクライアントから送られたエンベロープの送信者アドレスの比較を行い、マッチする場合のみ送信を許可します。マッチ しない場合は、如何なるメール送信もできません。

!ご注意!

SMTP 認証を有効にした場合、SMTP 認証に対応したメールクライアント(WebEdge、Outlook Express 等)を使わなければ、 メール送信ができなくなりますので、ご注意ください。

3. APOP

通常、メールを受信する際に使われる POP(Post Office Protocol) では、ログイン時のパスワードが平文のままメールサーバに 送られます。APOP とは、POP 時のパスワードを暗号化し、毎回異なるパスワードにするものです。Post.Office が対応してい る APOP は、PLAIN と LOGIN の 2 種類です。Post.Office に接続するメールクライアントが対応している認証方式にあわ せて、通常の POP と APOP を自動で切り替えますので、Post.Office 側で、APOP を ON/OFF する機能はありません。

!ご注意!

APOP に対応するメールクライアント(WebEdge、Eudora 等)を使わなければ、パスワードは平文のままでやりとりされます。

4. LDAP サーバ参照 (Advanced 版をご利用の場合)

Post.Office 3.8.4.J から、他の LDAP サーバを参照する機能が追加されました。動作確認済みの LDAP サーバは、OpenLDAP と iPlanet Directory Server です。

[システムコンフィグレーション]メニューの[参照 LDAP サーバ]を開くと、次のような画面が表示されます。

参照LDAPサーバ		
486	·建雄] (1世2))	
LDAP参照を有効にする のはいてしたえて LDAPホスト despine interese = flyces p LDAP ボート番号: 10APボート番号: 10APボート番号: 10388 検索最大件数: 103 素示する属性でmail 属性以の 10.4	□ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
1=6	10-12 V-12-1-1	
ICO 1999-2082. Opermane Ingroved & Distributed by Open Tech	Systems Inc. All Rahts Reserved. Instalates Corporation. All Rahts Reserved.	

図 2 [参照 LDAP サーバ]画面

[LDAP 参照を有効にする]で、[はい]を選択すると、LDAP サーバへの参照が有効になります。

[LDAP ホスト]は、参照する LDAP サーバのホスト名を入力します。

[LDAP 識別名]は、参照するデータにアクセスするための識別子です。" cn=person,dc=my-host,dc=jp"のように入力します。 [LDAP ポート番号]は、参照する LDAP サーバがサービスを提供しているポート番号です。通常、LDAP サーバのポート番号は、 389 です。

[検索最大件数]は、最大データ参照件数です。デフォルトは、100 件になっています。この最大データ参照件数以上のデータが 登録されている場合は、切り捨てられます。

[表示する属性]は、参照データの中で、リストに表示したい属性を入力します。メールアドレスを示す"mail"属性は、自動で表示 されますので、"mail"属性以外の属性を入力します。複数設定する場合は、","で区切ってください。

[1ページあたりの表示件数]は、1ページあたりの何件表示するかの設定です。デフォルトでは、10件になっています。 [送信]ボタンを押して、設定を保存します。 LDAP サーバを参照するには、ログイン画面左フレーム内にある[LDAP ディレクトリ]メニューをクリックします。 すると、次のように、検索した結果の一覧が表示されます。

Office のfice レクトリ たったり たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ たっ	LDAPディレクトリ LDAPディレクトリ検索結果(1/2) MRALたLDAPサーバMM ホスト/ボード: davjava informave-tity.co.jp.10389 ベースDN cn=parson.dc=my-host.dc=jp 表示属性 mail.en.cn		
mail	50	cn	
foldertest@deviava.infowave=tky.co.ip	foldertest	folderteet	
imagtest@deviava.infowave=tky.co.ip	imapteet	imaptest	
m623mailer@deviava.infoeave-tky.co.jp	m623mailer	ne623mailer	
clex10090deviews infoweve-thy co.ip	sole for the	B00 toalo	
outlookes@deviava.infoweve-thy.co.ip	outloolsex	outbokex	
root@deviewainfowawe=tky.co.ig	root	root	
ter@deviava.infoweve-tley.co.ip	teri	teri	
weimap1005@deviava.infowave-tiky.co.ip	weimap1006	weimap1006	
weimap1007@deviava.infowave-thy.co.ip	weimap1007	weimap1007	
weimap1007b@deviava.infoweve-tky.co.is	weimap1007b@deviava.infowave=thy.co.ip/weimap1007b/weimap1007b		
敬虔した 14 件のアカウント中 10件が表示され	ています。戻し	Jac.	
(C) 1993-2002. Openwave Systems & Improved & Dictributed by Open Technologies (ur, All Rights Rea Sarperation, All P	eroed Ighta Reperved	

図 3 [LDAP ディレクトリ検索結果]画面

5. SideLine

SideLine とは、特定の条件にマッチしたメールの配信処理を、一時保留にする機能です。保留になったメールは、メールプロ ッキング機能と同様、postmaster が個別に処理しなければなりません。

[システムコンフィグレーション]メニューの[SideLineの設定]を開くと、次のような画面が表示されます。

SideLineの設定	
**	100 1000
このフォームでは、サイドラインの	DRENCHET.
iideLineオブション	
Malアドレスからのかせー	-ジ(鍋-0):
ドメインが設定されている	しいっセージ(例 (auna))と
ドメインがホスト名だけの。 で「語」、そしていえ田	メッセージ(例くname@host))
ドメイン部分のアドレスの、 で「ス・アしていえ」目	メッセージ(朝くname#192.168.0.1>)
1.メッセージ内の保護数か たしたいをしいと目	A、借定数を越えたメッセージ:
1メッセージあたりの置大 100	<u>東大</u> 殿
同一TCPコネクションでの C はい P しいえ 田	地先設が、指定数を越えたメッセー
1102コネクションあたりの	0最大メッセージ数
0 #20 880 00/20 200	-99 1010 M/H
11CPコキクン=ンあたりの	1-9日 1030 へい7日 1-9日 1030 へい7日 10 <u>日</u> 大メッセージ数
110Pコキクションあたりの 「つ お前解決のできないギン4」	1-9回 92300 へ878 1-9回 92300 へ878 10 10 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
 11CPコキクションあたりの Pの 名前解決のできない・シィ 「は、タレい・ミロ Aまたは、MKLコードを持 「と称」 	ローション 2010 へいりは 1-9回 2010 へいりは り <u>最大メッセージ数</u> ① (ンからのメールを拒否する: たないホスト・ドメインからのメッセー
P #EW 9世の P+/90 700 110Pコキクションあたりの 100 名前解決のできないドメイ 「は、P しいえ田 A立たは、MALコード5時 「は、P しいえ田 SRLに登録されているサー 「は、P しいえ田	1-100 1010 へいりい つ意大メッセージ数 回 たっからのメールを拒否する。 たないホスト・ドメインからのメッセー ひからのメッセージ:
	1-9日 309日 487日 20日大メッセージ数 田 にかからのメールを拒否する。 たないホスト・ドメインからのメッセー 介からのメッセージ:
D #=50 9末の 24.70 368 1TCPコキクションあたりの 100 名前解決のできないギンイ 「は、そしいえ田 A並たは、MKLコードを持 では、そしいえ田 REL 登録されているサー では、そしいえ田 REL 登録されているサー では、そしいえ田 REL Prime or Runz 高はな設定を使用する。 では、そしいえ田	1-9日 3290 ヘル7日 <u>2豊大</u> ジッセージ数 国 にっからのメールを拒否する。 たないホスト・ドメインからのメッセー 小からのメッセージ:

C21983-2502, Operande Exercision Field to Reported. Improved & Davidated by Open Technologies Carporation. All Refers Revenued.	
Ph:04.87940.01	- BUTT

进程 1925F

48.4

図 4 [SideLine の設定]画面

[Null アドレスからのメッセージ]を[はい]にすると、メールの From アドレスがないメールの配信処理を一時保留にします。 [ドメインが設定されていないメッセージ]を[はい]にすると、メールの From アドレスにドメインがないメールの配信処理を一時 保留にします。

[ドメインがホスト名だけのメッセージ]を[はい]にすると、メールの From アドレスがドメイン名だけ終わるようなメールの配信 処理を一時保留にします。

[ドメイン部が IP アドレスのメッセージ]を[はい]にすると、メールの From アドレスのドメイン部(@マークより後)が、 host.domain ではなく、IP アドレスになっているメールの配信処理を一時保留にします。

6

[1 メッセージ内の宛先数が、指定数を超えたメッセージ]を[はい]にすると、ひとつのメール送信で宛先の数が指定数を超えているメールの配信処理を一時保留にします。

[1 メッセージあたりの最大宛先数]は、ひとつのメール送信で許容する宛先の最大数を指定します。デフォルトでは 100 になっています。

[同一 TCP コネクションでの宛先数が、指定数を超えたメッセージ]を[はい]にすると、ひとつの TCP コネクションで宛先の数が 指定数を超えているメールの配信処理を一時保留にします。

[1TCP コネクションあたりの最大宛先数]は、ひとつの TCP コネクションで許容する宛先の最大数を指定します。デフォルトでは、100 になっています。

[名前解決のできないドメインからのメールを拒否する]を[はい]にすると、メールの From アドレスのドメインが、DNS に登録 されていないメールの配信処理を、一時保留にします。この機能を使うと、DNS サーバに問い合わせを行いますので、From ア ドレスのドメイン名によっては、数秒の待ち時間が発生します。

[MX または、A レコードを持たないホスト・ドメインからのメッセージ]を[はい]にすると、メールの From アドレスのドメイン が、DNS の MX レコードか A レコードに登録されていないメールの配信処理を一時保留にします。この機能を使うと、DNS サ ーバに問い合わせを行いますので、From アドレスのドメイン名によっては、数秒の待ち時間が発生します。

[RBL に登録されているサイトからのメッセージ]を[はい]にすると、RBL(Real-time Blackhole List)システムを利用して、不正 なリレーを許可するとみなされているサイトからのメールを自動的に保留状態にします。この機能を使うと、DNS サーバに問 い合わせを行いますので、From アドレスのドメイン名によっては、数秒の待ち時間が発生します。

[RBL]には、RBL チェックに利用する RBL ホスト名を入力します。デフォルトは relays.ordb.org になっています。

[高度な設定を使用する]を[はい]にすると、[高度な設定]で設定したエンベローブにマッチしたメールを一時保留状態にします。 例えば、"sales@xxx.com" から送信される "info@opentech.co.jp" 宛のメールを保留状態にしたい場合、

mail_from (sales@xxx.com) Or rcpt_to (info@opentech.co.jp) Or

というように設定を行います。

[高度な設定] には、以下の書式で記述してください。 検索対象(検索文字列)演算子

設定の最後の行でも、必ず演算子が必要です。

検索対象と検索文字列には、以下のヘッダを指定できます。検索文字列は、必ず括弧で括ってください。検索文字列には、日本 語も記述できます。日本語で記述する場合はSHIFT JIS で記述してください。

	検索対象	検索文字列
mail_from	エンベローブの MAIL FROM	メールアドレス(*1)
rcpt_to	エンベローブの RCPT TO	メールアドレス(*1)
From	メールヘッダの From	メールアドレス(*1)
То	メールヘッダの To	メールアドレス(*1)
reply-to	メールヘッダの Reply-To	メールアドレス(*1)
Subject	メールヘッダの Subject	文字列
Text	メール本文	文字列
Filename	メールに添付されているファイル名	文字列

(*1):メールアドレスの書式について

メールアドレスは、以下のパターンで記述してください。

account@domain	: 完全な形でのメールアドレス
*@domain	:domain から送信されたすべてのメール
account@*	: 特定アカウントから送信されたすべてのメール

上記の検索対象以外にも、メールのヘッダに定義されているものであれば、検索対象に できます。エンベローブとヘッダに関する検索では、大文字/小文字を区別しません。 text を検索対象にした場合のみ、大文字/小文字を区別します。 演算子に使用できるのは、Not、And、Or、NotAnd、NotOr の 5 種類です。 !ご注意!

SideLine でメッセージを一時保留に設定している場合、SideLine されたことを示すメッセージは postmaster 宛に送信されず、 かつ、postmaster が処理するまで保留となります。SideLine をご利用になる場合、postmaster は、定期的に[遅延メール]で SideLine されているメッセージが溜まっていないかを確認してください。

6. Per User Filter

Per User Filter とは、Post.Office アカウントを持っているエンドユーザごとに、特定アドレスから送信されるメールを拒否す るための機能です。設定された内容は、エンドユーザごとに次の情報をペアにして、専用の Per User Filter サーバ内に管理/保 存されます。

- 受信を拒否したいメールアドレス From: 情報
- 自分のアドレス(追加アドレスも設定可) To: 情報

!ご注意!

Per User Filter をご利用になる場合は、専用のサーバアプリケーションが常駐して稼働するようになりますので、できるだけ搭載メモリの多いシステムでご利用ください。

フィルタリングされるアドレスは、電子エンベローブ (SMTP における MAIL FROM: と RCPT TO:)の情報を対象にしています。したがって、メッセージヘッダーに記述される From: や To: の内容と、必ずしも同じではないことがあります。

[システムコンフィグレーション]メニューの[Per User Filter の設定]を開くと、次のような画面が表示されます。

H Perman	er Pier User Filler Configuration + Netscape 8		
, 79(6-E)	480 870 970 940 940 10 MMD -470	#:	
	Per User Filter の設定		
	485	2011 (01644)	
r.	Par User Filter 左右強にする: (1) Par User Filter Server 本スト: hosteri Par User Filter Server ポート: Host Par User Filter 別定義大政: Far User Filter 別定義大政: Far User Filter 別定義大政:		
	485	201 3035	
	KO11890-0202, Operative Systems Inc. All Repris Improved 8 Test-Barted by Oper Testworkges Congenition. 4	Peraminent di Ragistra Peraminent	
	Was Multimentere filling interesting interesting		T-TREAM (

図 5 [Per User Filter の設定]画面

[Per User Filter を有効にする]を[はい]にすると、Post.Office 全体の Per User Filter 機能が有効になり、アカウントの編集画 面に、エンドユーザごとの Per User Filter 機能のための項目が追加されます。(図 6) さらに、[システムコンフィグレーション] メニューの[エンドユーザのアカウント変更オプションの定義]には、[メールブロッキングの設定]の項目が追加され、この項目に チェックがついていると、エンドユーザが Post.Office にログインした時のメニューに、[Per User Filter の設定]が追加され、 エンドユーザが時分自身で Per User Filter の設定を編集できるようになります。(図 7、図 8)

[Per User Filter Server ホスト] は、Per User Filter 情報を管理するための Per User Filter Server のホスト名です。Per User Filter Server は、Post.Office のインストール時に同時ににインストールされ、Post.Office を稼働させているホストと同一ホストで動作する前提になっており、デフォルトは "localhost" です。設定を変更しないでください。

[Per User Filter Server ポート]は、Per User Filter Server がサービスを提供しているポート番号で、デフォルトは "6666" で す。設定を変更しないでください。

[Per User Filter 設定最大数]は、エンドユーザ1人ごとに登録できるフィルタ情報の最大件数です。デフォルトは5件になっており、最大20件まで登録できるようになっています。

Perl	Jser Filter:	
2	ar Usar Filtar 機能を有効にする。 (広、キしいミロ	
7	ロックするドメインノメールアドレスパドアドレス	
アカ	ウントセキュリティバラメータ:	
P	oPsおよびwwwへのアクセスが許可されるドメインパPアドレス	

図 6 [アカウントデータフォームの Per User Filter の設定]画面

[Per User Filter 機能を有効にする]を[はい]にすると、エンドユーザごとの Per User Filter が有効になります。したがって、 図 5 の[Per User Filter の設定]で、サイト全体に対する Per User Filter が有効になっていても、エンドユーザごとの Per User Filter が有効にならなければ機能しません。

[ブロックするドメイン/メールアドレス/IP アドレス]は、受信を拒否したい From アドレスと、To アドレスをペアで登録しま す。例えば、"sales@xxx.com" から送信される、"info@opentech.co.jp" 宛のメールを拒否したい場合は、次のように記述します。

to:info@opentech.co.jp from:sales@xxx.com

書式は、「to:宛先アドレス from:拒否したいアドレス」となり、宛先アドレスと、"from:" との間には半角スペースで区切ってください。

from 側の拒否したいアドレスには、以下の3種類で記述することができます。

from:sales@xxx.com	:sales@xxx.com からのメールを拒否する
from:sales@*	: sales@ で始まるアドレスのメールをすべて拒否する
from:*@xxx.com	:xxx.com で終わるアドレスのメールをすべて拒否する

これらの設定は、図 8 [エンドユーザの Per User Filter の設定]画面でも同様です。

421-9	のアカウントオプション
485	200 200
エンドユーザによ にここで相応するサ スにおれてのみ適 には、 単自てし、いえ」を	も設定作業を許可する項目 アノシムINAbとインターフェイスからのアクセ 見されます。E-mailによるアクセスを影響する ・リームフォームの[E-mailによる設定]の 裏現してでにおい。)
ダ メールアリケン	トノキロを含めい (スワート)の変更 (田)
デ メール設備方法	め通択口
京 不在めたージ	の教室国
デ フィンガー情報	の編集 ①
アデル分り翻	お福東国
F E-mail7FL/X	青崎の表示(国)
アメールアリナン	トのアクセス刺激の表示 田
ダメールフカウン	トディレクトリの表示国
アメールブロッキ	ングの設定 国
CJ 1983-000 Intercent 5, Date Baland	Operative Systems Inc. All Platts Received.

図 7 [エンドユーザのアカウントオプション]画面

エンドユーザに対して、エンドユーザ個人の Per User Filter の設定を変更させたい場合は、[エンドユーザのアカウントオプション]画面の[メールブロッキングの設定]にチェックをつけて保存してください。すると、エンドユーザが自分で Per User Filter を設定できるようになります。

Per User Filter	·の設定
485	223 2000
Per User Filter	岩を有効にする
ブロックするドメイン	/メールアドレス/IPアドレス:
III.	
486	1000 1000F
	and a dama where the second se

図 8 [エンドユーザの Per User Filter の設定]画面

【Post.Office Ver 3.8.4 for Windows で Per User Filter をご利用になる皆様へ】

Per User Filter では、アカウントに対する Per User Filter 情報を、専用のサーバアプリケーションが管理しますが、Windows 版の Post.Office Ver 3.8.4 では、サービスとして、Post.Office 本体となる[post.office MTA]の他に、[post.office pufService]が 登録されています。これは、Post.Office のインストール時に登録されます。

[post.office pufService]は、Post.Office 本体と常に連携するようになっておりますので、Post.Office をお使いになる場合は、必ず[post.office pufService]を開始させておいてください。通常は、サービス登録時に、 [スタートアップの種類] を [自動] に設定して、[post.office pufService] がインストールされますので、設定の変更を行う必要はありません。

% #−82.						_ 🗆 🗵
神秘的 表示的 一。	- → 🗈 📅 🔂 🖳	12 • •	н н			
20-	名前ノ	13M	状態。	79	0.242	
M-12 (n-44)	Network Connections	キャトワークセダイ	開始	手動	LocalSystem	
	Statwork DDE	Dynamic Data E.		手動	LocalSystem	
	Notwork DDE DSDM	共有 Dynamic D		平動	LocalSystem	
	NT LM Security Support	名前付割付フ。		手動	LocalSystem	
	Openwave Systems Inc			手動	NAdministrator	
	Performance Logs and AL.	パフォーマンスロー		平動	LocalSystem	
	Plue and Play	デドイスのインスト	PERC:	自動	LocalSystem	
	postatice MTA	h	1896	自動	AMailServernate	1
	Spostatfice pullbervice	14	開始	自動	AMa (Server-user	,
	Print Spooler	透明印刷をする。	PERC.	自動	LocalSystem	
	Protected Storage	秘密ターなどのこ	DDPs	自動	LocalSystem	
	S RSVP	Qe8 MIZ7075		学動	LocalSystem	
	Reveate Access Auto Co	プログラムがりモー。		手動	LocalSystem	-
	B Barrota Locare Cornari	生化1/1-/10948	10%	工計	LocalRoctan	-

図 9 [サーバーマネージャー]画面

መተለሱ መሪቲስ ተምሰ	post.effice.pu/Service のブロパティ	2 🗵
金倉 0.5オン 0	20 M 16-72 MD F	
9-E3:8-	putService	
表示名称	postoffice putService	
1853 (2)		
掲行ファイルの切り 「Ci¥winitZappWPc	90. at Office#put=serve#putService.eo#	1
29-トアップの 種類症と	litato 👱	
サービスのない時に	RNs	
1910-191	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
ここでサービスを聞	始ずるときに途用する開始パラメータを指定して(ださい。	
開いによー9回		1
	06 \$4526 2000	0

図 10 [post.office pufService]画面

7. IMAP4 (Advanced 版をご利用の場合)

IMAP(Internet Message Access Protocol Version 4 rev1) は、"メールボックス"と呼ばれるサーバ上にあるメッセージフォルダーを、ローカルのメールボックスと機能的に同様な方法での操作を可能にするためのプロトコルです。IMAP の主な機能は、フォルダの作成、フォルダ名の変更、フォルダの削除、メッセージのフォルダ間の移動です。

また、Post.Office に IMAP4 が今回サポートされたことに伴い、メールクライアントとしての WebEdge の IMAP クライアント機能もチューンアップされました。WebEdge を使えば、送信したメールのコピーを "Sent"(送信済みフォルダ)に置いたり、書きかけのメールを "Drafts"(下書きフォルダ) に保存したりということが可能になります。

Post.Office の IMAP サーバ機能をお使いになりたい場合は、[IMAP4 Server の設定]で、[IMAP4 Server を有効にする]を[はい]に設定してください。

C Partmacher: 36474 5	lerver Contiguration		_
IMA.	P4 Server の設定	1-	
- and a			
486		Mar Internet	
MAP Que	4 Server ∰48865#35 🔟 L+ ⊂L+C		
486 8		38(2) 5454-	
	ICI 1993-0302, Djørweve Svatene Inc. Al Rights represent & Distrikulation Gaan Technologies Dieparekee	Factoriad. Al Phylic Pacerond	

図 11 [エンドユーザの Per User Filter の設定]画面

!ご注意!

IMAP4 Server をご利用になる場合は、専用のサーバアプリケーションが常駐して稼働するようになりますので、できるだけ搭載メモリの多いシステムでご利用ください。

次の状況で IMAP クライアントをお使いになると、メールボックスが壊れる可能性がありますのでお控えください。

- 同一アカウントを複数の IMAP クライアントで同時にアクセスはしないでください
- 同一アカウントのメールボックスに POP と IMAP の両方を使ってアクセスはしないでください。必ずご利用になるプロトコルを決めてください。

8. メーリングリストナンバリング

メーリングリストのサブジェクトに、投稿順に連番で自動的に番号を付加できるようになりました。 [メーリングリストデータ]の[詳細メッセージ編集オプション]の項目に、[現在のメーリングリスト投稿数]が追加されました。 メーリングリストのサブジェクトに、投稿番号を挿入したい場合は、[書き換えるその他のヘッダ]に、サブジェクトの書き換え 文字列を次のように入力します。

詳細メッセージ編集オブション:	
挿入するヘッダ:	
二、次一で始まるヘッダを削除(目)	
朝鮮するその他のヘッタ	
書き換えるその他のヘッダ	
PREFIX Subject: "[PO UserML:]"	00
現在のメーリングリスト物構成	

図 12 [メーリングリストデータ]画面

メーリングリストタイトルの後ろに、":"(コロン)を入力すると、この後ろに投稿番号が自動的に挿入されます。

(例)

PREFIX Subject: "[TITLE:]"

このメーリングリストに投稿されると、"[TTTLE:数字5桁]"で始まるサブジェクトに置き換えられて、メーリングリストが配信 されます。投稿番号を示す数字は、00000 ~ 99999 までで、99999 の次は、00000 に戻ります。

また、図 9 [メーリングリストデータ]画面にある[現在のメーリングリスト投稿数]に、0 から 99999 までの数字を入力して保存 すると、次回の投稿数は、入力数 +1 で番号が付加されます。投稿数番号を変更したい場合にご利用ください。

9. フィルターサーバのサポート機能について

フィルターサーバとは、外部提供されたウィルスチェックサーバ、スパムフィルターサーバ等を指します。この機能は、[SMTP メールルーティングテーブル]と合わせて使用することを想定しています。Post.Office ではメールを受信すると宛先アドレスが Post.Office に登録されたローカルアカウントのアドレスか判断し、ローカルアドレスであった場合は、ローカル配送を優先して 直接、アカウントのメールボックスへ配送します。フィルターサーバを一旦、経由したい場合は、[SMTP メールルーティング テーブル]でフィルターサーバへルーティングさせます。フィルターサーバの設定を有効にするとローカルアドレス宛てのメール もルーティングテーブルで指定されたホストへルーティングさせることができます。

フィルターサーバ側では、メールをフィルタールールで検査した後、Post.Office へ転送されたメッセージを戻します。Post.Office では、戻って来たメールを外部から新規に来たメールと区別するために接続先の IP アドレスをチェックします。接続先のアドレスがフィルターサーバの IP アドレスであれば、メールルーティングの指定は無視され、ローカルアカウントのアドレスであればメールボックスへ配送し、外部ドメインへのアドレスであれば、DNS の MX レコードを検索し、SMTP により外部配送します。

tearter System Configuration: Mail R.		_
特別なルーティングの指示 SMTPメールルーティングテーブル: *:[127.0.0.1]#10025		
ドメインリライトテーブル	Œ	
フィルターサーバの設定		
フィルターサーバのIPアドレス。 hzran1 (1) 強制ルーティングを行う:		
き (れいぐしい注意) メールループ検出を行わない き (れいぐしい注意)		
4.00	are I news I	

図 13 [フィルターサーバの設定]画面

[フィルターサーバの IP アドレス]は、転送先であるウィルスチェック等のサーバの IP アドレスを指定します。ウィルスチェックサーバが Post.Office と同じホストで動作する場合は、127.0.0.1 のローカルホストの IP アドレスになります。(ポート番号の記述は必要ありません)

[強制ルーティングを行う]を[はい]にするとメールを受信した際、宛先がローカルアドレスであった時に[SMTP メールルーティングテーブル]で指定された配送先を優先して受信したメールを配送します。[いいえ]の場合は、宛先がローカルアドレスの場合、

メールボックスへ直接、ローカル配送されます。また[フィルターサーバの IP アドレス]に指定されたフィルターサーバから来る メールはルーティングテーブルの指定は無視されます。

[メールループ検出を行わない]を[はい]にすると Post.Office で行われる SMTP バナーメッセージに Post.Office 自身のアドレス が含まれているかどうかのチェックを無視します。この機能は、フィルターサーバが Post.Office からの接続に対して接続先 (Post.Office) の SMTP バナーを返すような透過的な動作をする場合に有効にする必要があります。[いいえ]の場合は、SMTP バナーメッセージに Post.Office 自身のアドレスが含まれているかチェックされ、含まれている場合にはメールループとなります。

10. Post.Office 本体に追加された機能について

Post.Office 本体に追加された機能について説明します。

<u>10.1. LDAP-Server プロセス監視機能</u>

[システムコンフィグレーション]-[LDAP サービスの設定]で、[LDAP サービスを有効にする]に設定すると、Post.Office 本体が LDAP-Server のプロセスを監視し、何らかの原因で LDAP-Server のプロセスが消失した際に、自動的に LDAP-Server を再 起動する機能が加わりました。WebEdge をメールクライアントとしてお使いになるような場合に、安定運用を支援します。

<u>10.2. 配信先 MTA からエラーが返ってきた場合の SMTP-Deliver の振る舞い</u>

[遅延メール]-[メールキューオプションの設定]に[配信先 MTA がエラー(4**)を返した時の SMTP-Deliver の振る舞い]の設定項 目が追加されました。配信時の RCPT TO の数が一定以上多い場合、配信先の MTA に送信を拒否される場合があり、そのまま RCPT TO の送信を続けるとエラーコードを受け取るまでに非常に時間がかかり、配信処理が遅くなる場合があります。 この 場合、[すべての RCPT TO を送り終わるまで待たずに途中で強制的に Session を Close する]にチェックすると、RCPT TO の 送信時のエラーによって、処理を強制的に中断し、次回の配信に処理を移行させられるようになります。ただ、この振る舞いは、 SMTP サーバとしては、RFC に準拠した振る舞いではないために、リレーのために配信先 MTA をひとつに限定するような特別 な使い方の時のみの使用に留めてください。デフォルトは、[すべての RCPT TO を送り終えてからクローズする(推奨)]です。



図 14 [キューメールオプション]画面

10.3. [名前解決のできないドメイン名からのメールを拒否する] に関する仕様変更

[メールブロッキングオプション]の[名前解決のできないドメイン名からのメールを拒否する]にチェックした場合、従来は、DNS サーバを参照して、メールを送信してきた相手の MTA が DNS の A レコードに登録されているかどうかを判断しておりました が、MX レコードを参照するように仕様が変更になりました。

DNS の MX レコードは、DNS サーバが管理するサーバ群の中で、メールサーバとして登録されているサーバを示します。 これによって、送信してきたサーバが「正しくメールサーバとして登録されているものかどうか」をチェックできるようになり ました。 10.4. リレーを促すアドレスについての対応 (パーセントハック対応)

@(アットマーク)より、前に書かれているアドレスを「ローカルパート」といいますが、このローカルパート部に、強制的に他の メールアドレスヘリレーさせるための記述を行い、関係のないメールサーバを踏み台として SPAM メールを送信するという方法 があります。

このような SPAM メールの踏み台にさせないために、[メールリレーの制限]に[メールを促すアドレスについての対応]として、 ローカルパート部に、%(パーセント)、!(エクスクラメーションマーク)、'(シングルクォート)、"(ダブルクォート)のいずれかが含 まれている場合には、メールの受け取りを拒否する[パーセントハック対応]が新しく追加されました。

atter bystelli Contiguratori SMIP.	
Lovenov v 12-	- 00
 次に指定するドメイン以外のすべてのドメイン 	— <u>a</u>
リレーを留すアドレスについての対応: 20世紀メールアドレスのローカルバート時マークとJWA して扱い、労力取りを指定します。 「 NOTーセント)が含まれたら受け取りをJ 「 NITーセント)が含まれたら受け取りをJ	Litoxfortoiths 42. fif Bits II EstituigisBits II Sith SuituigisBits II

図 15 [リレーを促すアドレスについての対応]画面

従来の Post.Office では、ローカルパート部に、次のような書式の RCPT TO があった場合、それをそのままリレーする対象として処理を行っていました。

RCPT TO:sales%xxx.com@opentech.co.jp RCPT TO:xxx.com!sales@opentech.co.jp RCPT TO:"xxx@abc.com"@opentech.co.jp RCPT TO:xxx@abc.com"@opentech.co.jp

[%(パーセント)が含まれたら受け取りを拒否する]にチェックすると、ローカルパート部に、%が含まれているメールの受け取りを拒否します。

[!(エクスクラメーションマーク)が含まれていたら受け取りを拒否する]にチェックすると、ローカルパート部に、!が含まれてい るメールの受け取りを拒否します。

['"(シングルクォート、ダブルクォート)が含まれたら受け取りを拒否する]にチェックすると、ローカルパート部に、'や"が含まれているメールの受け取りを拒否します。

[@(アットマーク)が含まれたら受け取りを拒否する]にチェックすると、ローカルパート部に、@が含まれているメールの受け取りを拒否します。

ローカルパート部に、@(アットマーク)が含まれている場合は、Post.Office が自動的にアドレスの書き換えを行い、ローカルパ ート部を"(ダブルクォート)で囲んで処理を行いますので、[@(アットマーク)が含まれていたら受け取りを拒否する]と['"(シング ルクォート、ダブルクォート)が含まれていたら受け取りを拒否する]の両方にチェックされていても、"(ダブルクォート)のチェ ックに先に該当してしまうため、@(アットマーク)のチェックは行われません。

10.5. 追加された機能に関する [ログオプション] の設定

今回、追加されたいくつかの機能に関するログオプションもあわせて追加されています。

[6. Per User Filter] で、受け取りを拒否した時のログを残す際には、 [ログオプションの設定] で [Puf Filter: Puf Reject ロ グ] にチェックしてください。この項目は、デフォルトでチェックされています。



図 16 [ログオプション: Puf Filter:Puf Reject ログ]画面

[10.4. リレーを促すアドレスについての対応 (パーセントハック対応)] で、チェックを行った結果、受け取りを拒否したアドレ



スについてのログを残す場合は、[ログオプションの設定]で [宛先アドレスチェックエラーログ] にチェックしてください。

図 17 [ログオプション:宛先アドレスチェックエラーログ]画面

[SMTP 認証] で、認証エラーの時のログを残したい場合は、 [ログオプションの設定] で [SMTP Auth ログ] にチェックしてく ださい。

また、[認証されたユーザとエンベロープ送信者の確認を行う]を[はい]にし、エラーとなった場合の認証時アカウントの SMTP アドレスとエンベロープの送信者アドレスのログを残したい場合は、[ログオプションの設定] で[SMTP Auth Sender Check ログ]にチェックしてください。



図 18 [ログオプション: SMTP Auth ログ]画面

[5. SideLine] で、各項目に対するログを残したい場合は、[ログオプションの設定] で残したい項目にチェックしてください。



図 19[ログオプション: SideLine ログ]画面

11. Post.Office 3.8.4J の制限事項

11.1. WebEdge との連携に LDAP サービスをご利用になる時の制限

LDAP Server を使って、WebEdge と連携させて、ログイン認証機能をお使いになる場合、同時に接続できる LDAP のコネク ションは 64 以下です。 (C) 1993-2002, Openwave Systems Inc. All Rights Reserved.

(C) 2002 Open Technologies Corporation. All Rights Reserved.

Improved & Distributed by Open Technologies Corporation.